

理事会議事録

令和5年6月15日19時00分～21時00分、大阪医科薬科大学薬学部循環病態治療学I研究室 (Web会議)にて、令和5年度 第1回 (一社) 日本TDM学会理事会を開催した。

定刻に、菅原満が議長席につき、本理事会はWeb会議システムにて出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明ができる環境であり、その他何等の異状がないことを出席者相互で確認した。

本理事会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数 12名

本日の出席理事数 11名 家入一郎、池田賢二、加藤隆児、栄田敏之、志賀剛、菅原満、寺田智祐、本間真人、三浦崇則、矢野育子、内藤隆文 (加藤隆児以外の10名はWeb会議システムにより出席)

本日の欠席理事数 1名 増田智先

監事総数 2名

本日の出席監事数 2名 越前宏俊、谷川原祐介
(Web会議システムにより出席)

本日の欠席監事数 0名

第1号議案 評議員の選出

議長は、定款第12条に従い、評議員を新たに選出したい旨を述べ、その選出について一同に諮ったところ、満場一致をもって、次の者を評議員に選出した。なお、次回の定時社員総会にて、選任決議が行われることを確認した。

塩田有史 (愛知医科大学病院 薬剤部)

平井啓太 (信州大学医学部附属病院 薬剤部)

(計2名、五十音順)

第2号議案 令和4年度決算及び令和5年度予算案

議長は、令和4年度決算及び令和5年度予算案を承認したい旨を述べ、その内容について一同に諮ったところ、満場一致をもって承認された。

第3号議案 「日本薬系学会連合」について

議長は、複数薬系学会で構成予定である日本薬系学会連合に係る設立委員会での審議内容を述べ、設立総会時からの参画について諮ったところ、満場一致

をもって承認された。「日本薬系学会連合」設立総会は、2023年7月3日(月)に開催され、議長が参加する旨確認された。

以上の決議に続いて、以下の報告があった。

1. 編集委員会報告

編集委員会前委員長菅原満より、学会誌TDM研究について、第39巻2号, 3号, 4号, 第40巻1号を編集・発行した旨報告があった。

2. 広報委員会報告

広報委員長池田賢二より、ホームページ更新状況、学会会員の推移、会員限定コンテンツの利用法について報告があった。

3. 学術委員会報告

学術委員会委員長より、TDMセミナーの開催状況、および下記今年度の全国8エリア長について報告があった。

- ・北海道エリア：北海道大学大学院薬学研究院 菅原 満
- ・東北エリア：山形大学医学部附属病院薬剤部 山口 浩明
- ・関東エリア：武蔵野大学薬学部 三原 潔
- ・中部エリア：岐阜薬科大学 北市 清幸
- ・関西エリア：大阪大谷大学薬学部 浦嶋 庸子
- ・四国エリア：松山市民病院薬剤部 大塚 尚
- ・中国エリア：広島大学薬学部 猪川 和朗
- ・九州エリア：大分大学医学部附属病院薬剤部 伊東 弘樹

4. 国際交流委員会報告

国際交流委員会委員長加藤隆児より、IATDMCT 2022 Congressへの参加状況、IATDMCTにおける日本人会員数増加への取り組み、第38回日本TDM学会・学術大会でのJSTDM-IATDMCT Joint Symposium for TDM in Asia-Pacific Regionの開催、第39回日本TDM学会・学術大会でのJSTDM-IATDMCT Joint Symposium in Asia 2023の開催予定、およびIATDMCTのscientific committeeにおける日本TDM学会員の活動状況について報告があった。

5. 優秀論文賞等選考委員会報告

優秀論文賞等選考委員会委員長矢野育子より、2022年1月から12月の「TDM研究」に掲載された原著論文について選考し、決定した下記「TDM研究」優秀

論文賞 2 件について報告があった。

1) 近藤 昭志 (熊本大学病院薬剤部)

「血清トラフ濃度 $25\mu\text{g/mL}$ を目標としたテイコプラニン維持投与量に関する
後方視的検討」 TDM研究 Vol.39, No. 1, 9-16 (2022)

近藤昭志, 尾田一貴, 片野田朋美, 成田勇樹, 岩村耕次, 野坂生郷, 城野博史,
齋藤秀之

2) 渡辺史也 (明治薬科大学薬物動態学)

「A simultaneous quantitative LC/MS method for determination of five
anti-Mycobacterium avium complex (MAC) disease drugs in human plasma」
TDM研究 Vol.39, No.1, 17-24 (2022)

Fumiya WATANABE, Kozo MORIMOTO, Kazuhiko HANADA

また、2023年度「IATDMCT学術大会」派遣賞選考について、下記2名を受賞
者として決定した旨報告があった。

1) 石川 恵海 (慶應大学大学院薬学研究科)

Ishikawa E (Division of Pharmaceutical Care Sciences, Keio University
Graduate School of Pharmaceutical Sciences)

“Population Pharmacokinetics, Pharmacogenomics, and Adverse Events of
Osimertinib and its Two Active Metabolites, AZ5104 and AZ7550, in
Japanese Patients with Advanced Non-small Cell Lung Cancer: A
Prospective Observational Study”

2) 牧原 玲子 (国立がん研究センター中央病院)

Makihara R (Department of Pharmacy, National Cancer Center Hospital)

“Practical utility evaluation of a fully-automated method for quantifying 12
oral small molecule anticancer drugs”

6. 第39回日本TDM学会・学術大会準備状況報告

大会長栄田敏之より、第39回日本TDM学会・学術大会準備状況の報告があっ
た。

7. 第40回日本TDM学会・学術大会準備状況報告

大会長菅原満より、会場、日時について、2024年7月14日(日)、15

日（月，祝）、北海道大学 高等教育推進機構、医学部百年記念館で決定した旨報告があった。

8. 第41回日本TDM学会・学術大会準備状況報告

大会長池田賢二より、会場、日時について、2025年7月26日（土）、27日（日）、大阪大学吹田キャンパスコンベンションセンター、大阪大学大学院薬学研究科共催で決定した旨報告があった。

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時00分閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次に記名押印する。

令和5年6月15日

一般社団法人日本TDM学会理事会

出席代表理事 菅原満

出席監事 越前宏俊

出席監事 谷川原祐介